



日加ナノテクイベント
日加ナノテクシンポジウム
『ナノテクの実用化に向けて——ナノテクの国際標準化を中心に』
及び 技術パートナリングフォーラム

ナノテクノロジーは多くの産業にイノベーションをもたらすと大きな期待が寄せられておりますが、その実用化には、研究開発・産官学連携・普及啓蒙活動など、さまざまなツールが必要です。その中でも、材料・分析・評価に関して、品質保証や安全管理を行うため、標準化は不可欠な要素として認識されるようになってきています。2005年11月に国際標準化委員会（ISO）が技術委員会 229（TC229）を立ち上げ、ナノテクノロジーの標準化に動いています。TC229では、命名法、計測標準、安全性の3分野にワーキンググループがつくられ、それぞれ議論が進められていますが、命名法のグループ（WG1）はカナダが、また、計測標準のグループ（WG2）は日本が議長を務めています。命名法と計測標準は密接な関係にあるため、カナダと日本の間には緊密な連携が図られています。

今般、2月21日から東京ビッグサイトで開催の nano tech 2007 に於いて、カナダ大使館は、アルバータ州政府及びナノケベック・ケベック州政府と協力してカナダブースを展示する予定であり、展示を通じて日本の関係者の皆様に向け、カナダのナノテクに関する情報発信をいたします。（ブース No. 878-881）

そこで、nano tech 2007 に先立つ2月20日（火曜日）、カナダ大使館において、シンポジウム及び技術パートナリングフォーラムを開催いたします。

第一部シンポジウムにおいて、日加両国の有識者、政策担当者を招き、ナノテクの実用化への両国の取り組みについて紹介するとともに、ナノテク実用化のための、国際標準化を含めたさまざまなツールの重要性について、議論いたします。第二部では、技術パートナリングセミナーとし、カナダのナノテク企業、研究機関の技術を紹介し、日本企業・研究機関の皆様からパートナーを募る機会といたします。イベント後の、ネットワーキング・レセプションでは、両国のナノテク企業、研究機関との間での、幅広い交流を図る場を提供いたします。

日時： 2007年2月20日（火曜日） 13:30 - 18:00

場所： カナダ大使館 地下2階 シアター
(http://www.canadanet.or.jp/offices/tokyo_page.shtml)

主催： 在日カナダ大使館

後援： ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）

独立行政法人 産業技術総合研究所（AIST）

アルバータ州政府在日事務所

ケベック州政府

ナノケベック（地域コンソーシアム・ケベック州）

お問い合わせ： カナダ大使館 投資・科学技術部 黒岩克子 katsuko.kuroiwa@international.gc.ca



プログラム

日英同時通訳 付

13:00 受付開始
13:30 -13:35 開会の辞 駐日カナダ大使 ジョセフ・キャロン

第1部 日加ナノテクシンポジウム『ナノテクの実用化に向けて：国際標準化を中心に』

13:35 -14:15 基調講演
「ナノテクノロジーの国際標準化—世界の動きと日本のアプローチ」
独立行政法人 産業技術総合研究所 理事 小野 晃氏
「ナノテクの国際標準化活動の現状—命名法の観点から」（仮題）
カナダ国立研究機構 計測標準研究所 計測部門長 Alan Steele 氏

14:15 -15:45 パネルディスカッション 「ナノテクの実用化にむけて：国際標準化の動向と実用化への取り組み」

- 経済産業省 製造産業局 ナノテクノロジー・材料戦略室
室長 岩野 宏氏
- 独立行政法人 産業技術総合研究所 計測フロンティア研究部門 部門長
一村 信吾氏 (ISO 229 技術委員会 WG 2 コンビナー)
- 独立行政法人 産業技術総合研究所 東京本部 技術情報部門 シニア
リサーチャー 阿多 誠文氏
- ISO 229 技術委員会 WG 1 コンビナー Clive Willis 氏
- カナダ国立研究機構 計測標準研究所 計測部門長 Alan Steele 氏

15:45 - 16:00 第一部 総括
16:00 - 16:10 休憩

第2部 技術パートナリングフォーラム

16:10 -16:15 日加技術パートナリングフォーラム：開会の辞
16:15 - 17:55 企業・研究機関による技術発表 (添付の発表団体リストを御参照下さい)
17:55 - 18:00 閉会の辞 カナダ大使館 投資・科学技術参事官 ルイ・ガエタン

18:00 - 19:30 ネットワーキング・レセプション



第2部：技術パートナーリングフォーラム 発表団体リスト

アルバータ州

- カナダ国立研究機構(NRC) 国立ナノテクノロジー研究所 (National Institute of Nanotechnology) アルバータ州エドモントン。2001年にアルバータ州と連邦政府の協力で設立されたカナダ国立研究機構(NRC)傘下のナノテクノロジーを専門とする国立研究所。 <http://nint-innt.nrc-cnrc.gc.ca/>

ブリティッシュ・コロンビア (BC) 州

- サイモンフレーザー大学 4Dラボ (4D Labs, Simon Fraser University) BC州バンクーバー。サイモンフレーザー大学の研究所で、先端材料やナノデバイスの設計(Design)、開発(Development)、デモ(Demonstration)、作成(Delivery)を行う。 <http://www.4dlabs.ca/>
- ブリティッシュ・コロンビア・ナノテクノロジー・アライアンス (BC Nanotechnology Alliance) BC州のナノテクノロジー部門を推進を図るために結成された地域コンソーシアム。 <http://nanotechbc.ca/main/10089/>
- ボレアル・バイオエンジニアリング (Boreal BioEngineering) BC州ノースバンクーバー。ブリティッシュコロンビア大学からの技術を元に、革新的な2次元電気泳動法で効率の高い生体分子濃縮の可能なシステムを開発。 <http://www.borealbioengineering.com/>
- イノベティブ・バイオセラミックス (Innovative Bioceramics, Inc) BC州バンクーバー。生体材料技術。アモルファス・ナノハイドロキシアパタイトパウダー(ANHAP)、リン酸カルシウムセメント、歯科応用の医療機器などを開発。 <http://www.ibioceramics.com/>
- ノースウェスト・メテック (Northwest Mettech) BC州ノースバンクーバー。ブリティッシュコロンビア大学発の技術を元に窒素・水素プラズマの過酷環境に耐えうるプラズマトーチを開発。 <http://www.mettech.com/index.htm>

オンタリオ州

- ナノファイバー・フューチャー・テクノロジーズ (Nanofiber Future Technologies Corporation) オンタリオ州ウィンザー。高分子ナノファイバーの製造。 <http://www.nftc.cc>

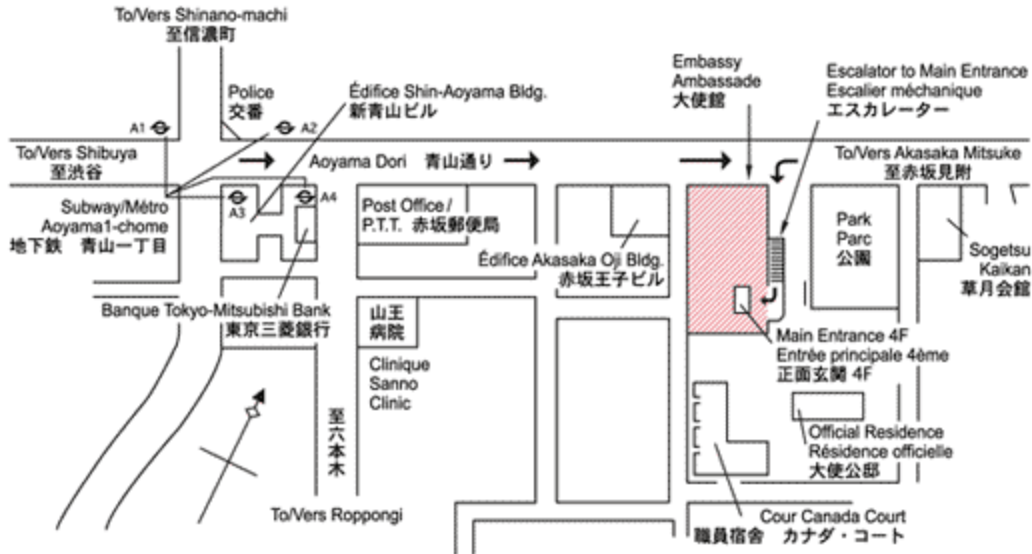
ケベック州

- バーマテックス (Bermatex Inc.) ケベック州モンマニー。ポリエステルやレイヨンなどの繊維の特性をコントロールする技術を開発。 <http://www.bermatex.com/>
- ロベール・ソウベ労働安全衛生研究所 (Institut de recherche Robert-Sauve en sante et en securite du travail) ケベック州モントリオール。1980年に設立、労働災害や職業性疾病の防止に関する研究所。ISO TC229のカナダ代表メンバーの一員。 <http://www.irsst.qc.ca/> 詳しい説明はこちらにも：<http://www.jicosh.gr.jp/japanese/country/canada/organization/Sauve.html>
- ナノケベック (NanoQuebec) ケベック州の6大学を取りまとめ、研究活動の推進と、産業への技術移転の促進などを行う地域コンソーシアム。2000年設立。 <http://nanoquebec.ca/>
- オーガニック・ビジョン (Organic Visions Inc.) ケベック州プロサール。非真空プロセスによる有機LEDの開発。 <http://www.organic-vision.com/>
- パプリカン(Paprican) ケベック州モントリオール。紙・パルプ関連技術の研究開発を行う国立研究所。 <http://www.paprican.ca/>
- レイモア・インダストリーズ(Raymor Industries) ケベック州ボワブリアン。単層カーボンナノチューブ製造技術、サーマルスプレーコーティング、ネットシェイプ加工などの技術を持つベンチャー企業。 <http://www.raymor.com/>
- シクストロン (SiXtron) ケベック州 ヴァレンヌ。革新的な蒸着技術を開発。材料が少なく、また他のCVD法に比較して低温での蒸着温度等の利点がある蒸着プロセスでSiC系薄膜を製造することが可能に。 <http://www.sixtron.com/index.html>

EMBASSY OF CANADA
AMBASSADE DU CANADA

7-3-38 AKASAKA
MINATO-KU, TOKYO 107-8503
JAPAN/JAPON
TEL: 03-5412-6200

カナダ大使館
〒 107-8503
東京都港区赤坂 7-3-38
TEL: 03-5412-6200



Canada

We regret that parking on the Embassy grounds is not available.
L'Ambassade n'est malheureusement pas dotée d'un terrain de stationnement.
大使館構内には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。



FAX: 03-5412-6254

カナダナノテク イベント 参加申込書

ファクスにて、カナダ大使館 投資・科学技術部へ2007年2月13日(火曜)までにご返信頂きたいようお願い申し上げます。お手数ですが、申込用紙1枚に1名ずつご記入下さい。

日時: 平成19年2月20日(火) 13:00 受付開始
 13:30~18:00 セミナー
 18:00~19:30 レセプション
会場: カナダ大使館 地下2階シアター 東京都港区赤坂7-3-38

第1部・第2部 ご出席 ご欠席

レセプション ご出席 ご欠席

英語にてご記入下さいますようお願い申し上げます。	
氏名	Dr. /Mr. /Ms.
役職名	
部署名	
貴社名	
ご住所	〒
TEL	
FAX	
E-Mail	

FAX: 03-5412-6254